令和 2年 5月 12日

各大学長
各大学理学部長
各大学工学部長 殿
各大学理工学部長
各関係機関長

弘前大学教育研究院自然科学系長
佐藤 裕之
(公印省略)

自然科学系 安全システム工学領域（医用生体機器分野）教員公募要項

1. 募集職種・人員 助教 1名
2. 任 期 任期なし
3. 所 属 教育研究院自然科学系 安全システム工学領域
(専任担当組織：理工学研究科(理工学部機械科学科併任))
4. 専 門 分 野 医用生体機器分野
特に光学技術に基づく微細加工学と医用生体工学
5. 担 当 科 目 理工学部：
基礎物理学実験，機械科学プログラミング，物理学演習，医用科学実験など
大学院理工学研究科：
専門分野に関連した科目，研究指導に関連した科目
(例えば医用システム総合研究 A, B)など
教養教育科目：
スタディスキル導入科目，自然・科学科目群など
6. 採用予定時期 令和2年10月1日（以降のできるだけ早い時期）
7. 待 遇 (1) 給与については，国立大学法人弘前大学職員給与規程が適用となります。
(2) 労働条件については，弘前大学の定める規程等によります。
8. 応 募 資 格 次の要件をすべて満たす者
(1) 応募時点で博士号（Ph. D を含む）を有するか，あるいは着任時までに取得見込みの方
(2) 一部の担当科目については，英語を用いて教育できる方
(外国人の場合には，研究指導と学内外の諸業務の遂行が可能な日本語運用能力を有する方)
9. 応 募 書 類 (1) 履歴書（写真貼付。高等学校卒業以降の学歴，職歴，資格など）

- (2) 研究業績リスト（査読付原著論文，全文査読付国際会議プロシーディングス，アブストラクト査読付国際会議プロシーディングス，招待講演，学会発表（国内／外），著書（単著／共著），総説・解説，特許（登録／出願），受賞（上記と重複の場合は要再掲），その他に分けて記載のこと）
- (3) 主要論文の別刷り 3 編程度（コピー可）
- (4) これまでの主要な研究内容（日本語 1, 0 0 0 字程度）
- (5) 今後の教育・研究及び社会貢献に関する抱負（日本語 1, 0 0 0 字程度）
- (6) 外部資金獲得状況（外部資金の種類，名称，代表者／分担者の別，金額）
- (7) 応募者に関する参考意見を伺える方 2 名の氏名と連絡先
（氏名，所属，役職，連絡先所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス）
- (8) 応募者の連絡先

10. 応募期限 令和 2 年 8 月 1 7 日（月）（必着）

11. 選考方法
- (1) 書類選考
 - (2) 候補者による発表（これまでの研究と今後の教育・研究および社会貢献について）
 - (3) 候補者に対する面接

12. 書類提出先 〒036-8561 青森県弘前市文京町 3 番地
弘前大学大学院理工学研究科 総務グループ（総務担当）宛
※封筒に「教員応募書類（医用生体機器分野助教）在中」と朱書きし，簡易書留，レターパック，EMS，その他法令で認められる送付方法により，送付記録の残る方法で送付して下さい。

13. 問い合わせ先 〒036-8561 青森県弘前市文京町 3 番地
弘前大学大学院理工学研究科 総務グループ（総務担当）
電話：(0172) 39-3503, FAX: (0172) 39-3513, E-mail: jm3505@hirosaki-u.ac.jp

14. その他
- (1) 機械科学科には，教育コースとして「知能システムコース」と「医用システムコース」の二つのコースがあり，今回は主に医用システムコースを担当する方を公募します。
 - (2) 理工学研究科附属医用システム創造フロンティアの活動にも協力して頂きます。
 - (3) 面接の際の旅費は応募者の負担とします。
 - (4) 応募書類は原則として返却いたしません。
 - (5) 機械科学科ホームページ (<http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/~mech/>) を参考にしてください。
 - (6) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については，男女共同参画推進室ホームページ (<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>) をご覧ください。
 - (7) 弘前大学では，女性の方，外国人の方の積極的な応募を歓迎いたします。
 - (8) 弘前大学は全学的な教員組織として「教育研究院」を設置しています。教員

は教育研究院に置かれるいずれかの学系に所属し、教育研究組織である学部、大学院研究科、附属病院などの専任担当として教育、研究、診療等の業務に従事することとなります。なお、必要に応じて他の教育研究組織の教育や業務、あるいは教員養成部門における教育を担当していただく場合があります。担当の授業科目が教職課程認定科目に相当する場合は、所属が「自然科学系 安全システム工学領域」の他に、教員養成部門に所属することになります。

- (9) 応募書類により取得する個人情報は、本公募による医用生体機器分野助教候補者の選考及び採用時の人事、給与、福祉関係等必要な手続きにのみ利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

以上